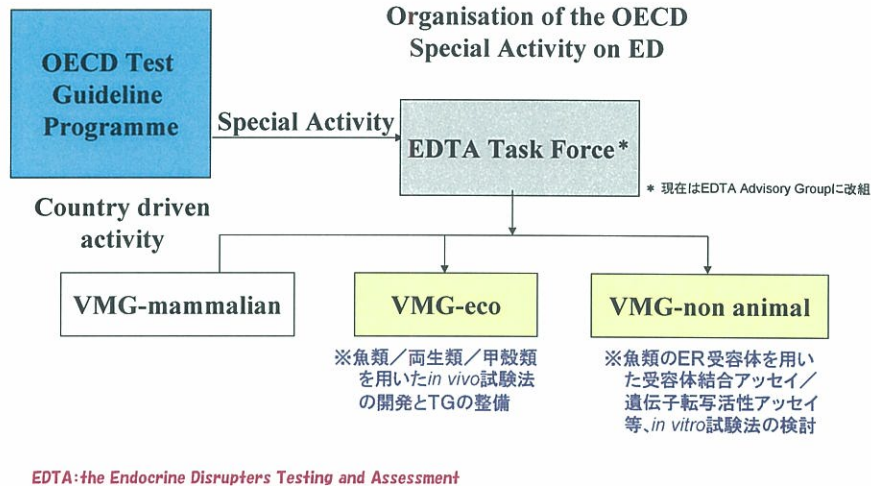
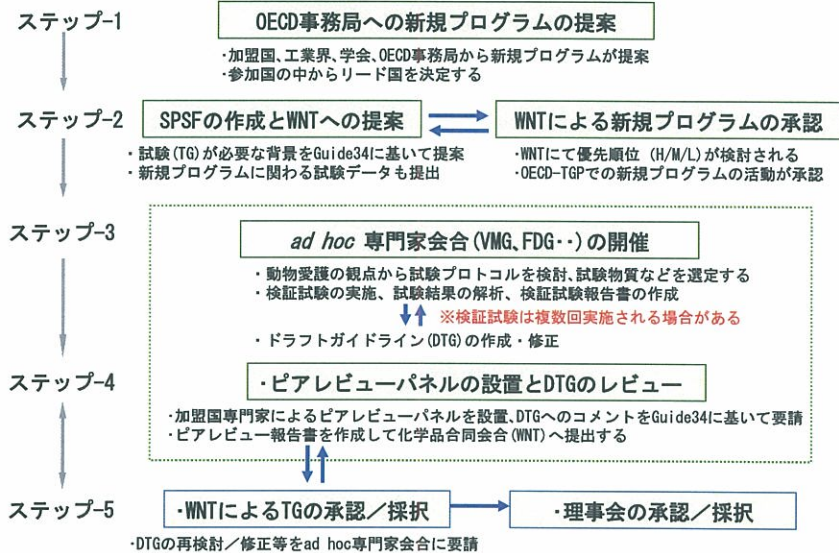


(添付資料1)

The OECD Work on ED: A Special Activity of the Test Guideline Programme



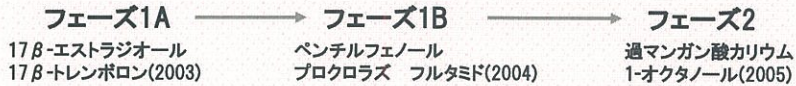
■ OECDテストガイドラインプログラムの流れ



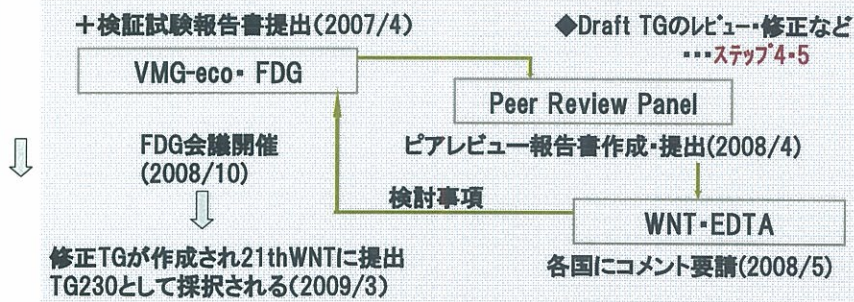
■21-Day Fish-Screening Assay TG作成の実例

◆EGで新規提案(2000)⇒試験プロトコル検討・作成 (2002)・・・ステップ1～3

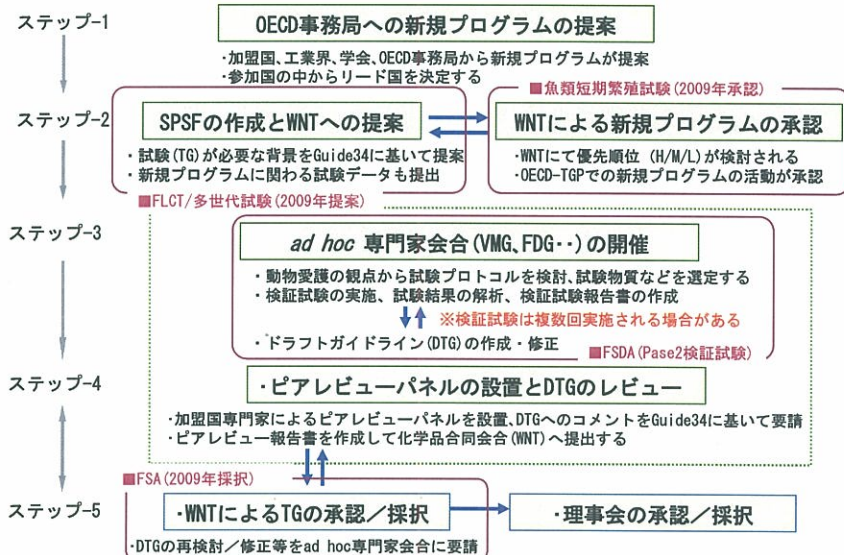
◆検証試験の開始・・・ステップ3



◆21-Day Fish-Screening Testガイドライン案作成 (2006)・・・ステップ3.4



■OECDテストガイドラインプログラムにおける魚類試験法の進捗状況



(添付資料2)

魚類を用いた試験法の概要 (1)

Fish Screening Assay (FSA)

メダカ (*Oryzias latipes*)、ファットヘッドミノウ、ゼブラフィッシュ



繁殖可能な性成熟した雌雄個体



- ・試験方法: 流水式試験装置
- ・試験濃度: 3濃度+対照区
- ・試験魚数: 雌雄10個体/試験濃度
繰返し数: 2 (雌雄各5個体/試験濃度)
- ・観察項目:
 - 試験液のpH、D0、水温 $24 \pm 1^\circ\text{C}$ (2回/週)
 - 試験濃度の実測 (1回/週)
- ・給餌: アルテミアふ化幼生2回/日 (飽食量)

- ・試料採取: ばく露21日後
- ・測定項目:
 - 個体の生存及び症状
 - 二次性徴
 - 肝臓中VTG濃度 (ELISA)
- ・データ解析:
 - ANOVAによる測定値解析

魚類を用いた試験法の概要 (2)

Fish Sexual Development Assay

メダカ (*Oryzias latipes*)、ファットヘッドミノウ、ゼブラフィッシュ



試験生物: 受精後数時間した受精卵



- ・試験方法: 流水式試験装置
- ・試験濃度: 3濃度+対照区
- ・試験魚数: 45個体/試験濃度
- ・観察項目:
 - 試験液のpH、D0、水温 $25 \pm 2^\circ\text{C}$
 - 試験濃度の実測
 - ふ化率、ふ化日数、個体の死亡、症状、体重、体長

- ・測定項目:
 - 肝臓中VTG濃度 (ELISA)
 - 生殖腺組織 (GSI、精巣卵など)
 - 性比 (DMY)
- ・データ解析:
 - ANOVAによる測定値解析